

イトマキミジンヤマタニシ

Cyathopoma nishinoi Minato, 1980

ヤマタニシ科

熊本県カテゴリー
絶滅危惧 I A 類 (CR)

環境省カテゴリー
絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

選定理由 県特産、全国局限、県内局限、模式産地、その他（もともと希少）

生息環境 落葉堆積があって湿気のある自然林内

生息状況 天草市の自然林内で発見された希少種。天草下島の数ヶ所から生息の記録がある。分布は今の所、天草下島に限られている。模式産地は熊本県天草市。

生存への脅威 森林伐採、ダム工事、観光開発、捕獲・採集、踏み付け、自然災害

特記事項 多様性条例（指定希少野生動植物）。日本に生息するミジンヤマタニシ類はミジンヤマタニシと本種のみ。台湾に生息する台湾ミジンヤマタニシのように殻表面に5~6条の螺旋脈がある。殻径 2mm 程度の微小種。



撮影：西野宏

※「レッドデータブックくまもと2019」より抜粋

（県ホームページ：<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/52/50813.html>）